

えころピープル

四日市公害を語り継ぐ

四日市再生「公害市民塾」



今年の7月24日で「四日市公害訴訟」判決の日から40年を経過します。

学校の教科書にも掲載され、「四大公害(訴訟)」ともいわれる大きな出来事です。石油化学コンビナートの排煙が大気を汚染し呼吸器疾患を患う多くの患者が発生し、関連企業六社が発生源として裁かれました。その裁判のお陰で四日市の環境はずいぶん改善されました。

しかし、こうした歴史上の大問題が時間の経過とともに人々の記憶から遠ざかっていきます。「そんなことは遠い昔のことだ」とか「もう青空が戻ったからいいんじゃない」とか「今さら騒ぎ立てるな」といった意見がでてきます。けれども歴史を消し去ることはできませんし、事実を事実として伝えていかない限り再び同じようなあやまちを繰り返してしまいます。

こうした意味を考えながら、私たち「市民塾」は平成9年に発足し、以来、「四日市公害」問題を伝承するために「語り部」活動と、資料の整理・保存作業を続けています。

特に「語り部」活動は、四日市市のみでなく市外・県外の児童・生徒にも人権学習・環境学習として語り継いでいます。10年前は年間9回でしたが、22年度は40回以上の依頼があり年々忙しくなってきました。大部分は小学5年生対象ですが、中学生・大学生からの依頼も増えてきました。

公害資料につきましては、四日市市が「資料館」設置を明言してくれていますので、今後は、その整理作業に忙しくなりそうです。保存のためのデータ化なども必要となり、行政とタイアップしながら進めていきたいと思えます。

「市民塾は」毎月例会を第4月曜日に開催しています。午後6時30分から、蔵町の「なや学習プラザ」が会場です。誰でも自由にご参加いただけます。意見交換をしながらこうした作業にも加わっていただける方大歓迎です。



新鋭の語り部 なたね通信

公害を知らない世代の青年が、四日市公害を新しいスタイルで伝えようと語り部活動に取り組んでいます。なたね通信代表の榊枝さんは、子どもたちになじみやすいようにマンガ風のイラストで紙しばいをつくり、小学生に読み聞かせを行いました。



また、四日市再生「公害市民塾」の思いを汲みながら、四日市公害の教訓から学んだことを伝えたいという思いを胸に、今年四日市公害訴訟判決40周年の節目に10回連続の講座を開催します。

四日市公害訴訟判決40周年プロジェクト

本当にありがとう。
そして、未来のありがとうのために



時間：13:00～ 会場：本町プラザほか

3月17日	私が公害の語り部になろうとしたわけ
4月14日	菜の花とコンビナート
5月12日	一本の松の木がみた四日市の海
6月9日	子どもたちと公害
7月21日	四日市公害判決から40年
7月21日	音楽が語る四日市と公害 (19:30～)
8月18日	「ありがとう」が言えなかった日
9月15日	仮想資料館見学ツアー開催
10月13日	みんなが知らない裁判以降の四日市公害
11月3日	安心できる空気を守り続けていこう！
12月15日	本当にありがとう。そして、未来のありがとうのために



憩いとふれあいの「鷹谷 竹のひろ場」

下野地区まちづくり委員会 里山整備部会

下野地区は、四日市市北西部で鈴鹿の山々をバックに、田園と緑広がる自然豊かな地区です。昭和30年代までは薪などを取る里山として手入れされていましたが、近年は人が入れないほど荒れ果てていました。特に、あさげが丘団地の北側の里山は、以前はアカマツの林であったところが孟宗竹に侵食され、うっそうとした竹林になっていました。

その荒廃した竹林を整備し、下野地区の地域の住民の憩いの場所、安らげる場所、子ども・老人・障がいのある住民が共存して散歩できる場所として、かつての景観を取り戻そうと平成21年からまちづくり委員会を中心としてその保全や整備の取り組みを本格的に開始しました。平成22年8月からは、そのまちづくり委員会の中に里山整備部会を設置し、里山の保全、整備を専門に活動を開始しました。

活動は、月に3度、地域の方々にお知らせして、ボランティアを募って行っています。最初は、「どのように手を入れていけばいいのか」ということで、専門家の先生をお招きし、学習会を行い、指導をしていただきました。そして平成23年4月には、四日市市の市民緑地の指定を受け、「鷹谷 竹のひろ場」をオープンしました。

地域の皆さんとともに里山保全の活動を通して、地域の活性化と皆さんの生きがいづくり、世代間交流や、ふれあいの場所、憩いの場所づくりとして、さらには災害時の絆

作りとして、今後もその活動を行ってきたいと思います。



竹の処分は、 粉碎機で竹チップに



竹を粉碎機で細かく砕いて、散策路や周辺に敷くことにより、雑草の生育を抑えます。また、竹チップを希望する方に配布し、畑などでも活用しています。



オープン記念事業 「竹の子ホリホリ 下野っ子」



地域の方へのPRとして、タケノコ掘りや竹工作などの体験や手作りタケノコご飯など、自然の恵みを味わってもらうイベントを開催しました。(平成23年4月17日撮影)

四日市の森

水を蓄え、腐葉土を作る

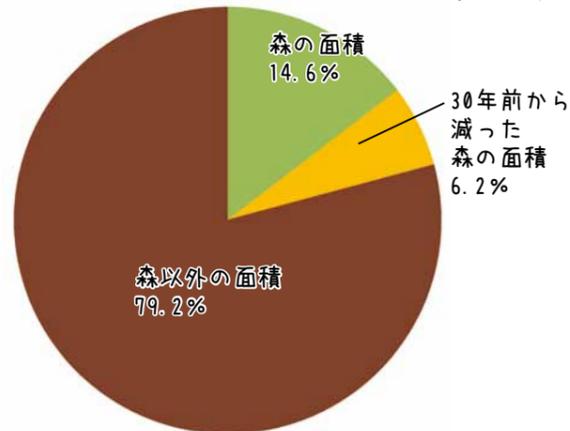


落ち葉が土の中に住む小さな生きものたちに分解され、栄養たっぷりの腐葉土になります



雨が降ると、ふかふかの腐葉土はしっかり水を吸収し、ゆっくりと時間をかけて地下にしみこんでいきます。森や田んぼなどにしみこんだ水は、地下水として四日市で使われています。

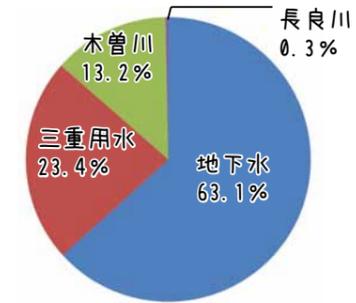
約30年で15%まで減った四日市の森



四日市では、近年、森林の割合が減っています。さらに管理する人がいなくなり、竹が増えすぎると荒れている場所が多くなっています。

四日市の川

栄養たっぷりの水を海へ運ぶ



四日市で使われている水の6割は、川の近くに掘られた井戸から取れる地下水。四日市では、1人が1日に370リットルの水を使っています。(全国平均303リットル)

洗剤	なら	⇒ 4リットル
牛乳	なら	⇒ 16リットル
しょうゆ	なら	⇒ 40リットル

食べ残し、飲み残し、洗剤など、下水にはさまざまなものが流れ出ます。1滴これらを流しただけで、魚が住めるような水質にするためには、キレイな水がたくさん必要になるのです。



四日市の海

水の汚れを浄化し、めぐみに変える



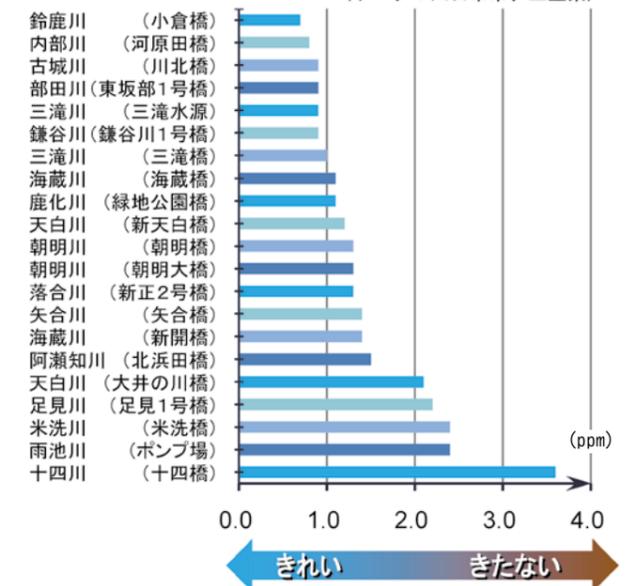
写真提供：三重県農林商工部水産資源室



干潟（潮が引くと砂地になる場所）や海岸のある浅い海は生き物の宝庫で、水をきれいにする天然の浄化センター。60年前には海水浴場もあった四日市ですが、工場が建設され、四日市の海岸は磯津海岸や吉崎海岸などわずかに残るだけとなっています。

四日市・川の水質 (2010年度)

(データ：四日市市、三重県)



四日市には20くらいの川があります。川の水の汚れのぐあい(BOD:生物化学的酸素要求量)を調べてみると、下流や町の近くの河川で汚れが目立ちます。

どんぐりワールド

秋になると、森や公園ではどんぐりがサクサク！豆みちいなるミニミニどんぐり、横に太いふとっちょどんぐり、縦に長いのっぽどんぐり、ちょっと変わった帽子のおしゃれどんぐり、食べるとおいしいどんぐりなど、いろんなどんぐりを集めてみましょう！

ふとっちょどんぐりは
王様ぼうし



おいしいどんぐりは
オシャレぼうし



のっぽなどんぐりは
うろこぼうし



丸型どんぐりは
しましまぼうし



クヌギ



アベマキ

冬になると葉っぱが落ちる
1年中葉っぱがついてる



クリ



スダジイ



ツブラジイ



コナラ



ウバメガシ



マテバシイ



アカガシ



シラカシ



ウラジロガシ



アラカシ

どんぐりは縄文時代の貴重な食料。今でもクリは秋の味覚として楽しまれています。スダジイやツブラジイ、マテバシイなどは生でも食べられるトングリで、炒って食べるとおいしくてオススメです。

どんぐり代表コナラの成長のあゆみ



コナラ雄花

コナラ雌花

春に花が咲き、

夏になると実が大きくなり、

秋にどんぐりを落として紅葉し、

冬になると葉っぱが落ちる。

四日市自然観察スポット

少年自然の家
【住所】水沢町字大谷 1423-2
里山の風景を楽しむことができる。サルやウサギ、シカなど様々な動物が暮らす森。

御池沼沢
【住所】西坂部町（大池中学校そば）
日本の天然記念物指定地。湿地特有の植物を見ることができる。

南部丘陵公園 北ゾーン
【住所】西日野町・東日野町・大字日永・大字泊村
いろんな種類のどんぐりを拾うことができる。

南部丘陵公園 南ゾーン
【住所】波木町・貝家町
ミニ動物園やピオトープがある。



中央緑地公園
【住所】日永東1
木の実拾いや、ちょっとした自然を楽しむのに最適。

磯津海岸・吉崎海岸
【住所】大字塩浜、楠町小倉、楠町北五味塚
春～秋にかけては、ハマヒルガオなどの海浜植物や、カニの観察、貝拾いなどが楽しめる。冬場は鳥の観察スポットとしてもオススメ。

楠中央緑地公園
【住所】楠町北五味塚 1215-1
体育館や図書館も併設した緑地公園。

発行しました！ よっかいち自然ガイド

四日市の自然ダイジェストを紹介する「ふれたくなる～よっかいち自然ガイド」を限定2000部で発行しました！四日市市環境学習センターや図書館、自然観察会などで無料配布中なので、お早めにゲットしてくださいね！



- 1 自然観察会に行こう！
・・・自然観察会、初心者のためのガイド
- 2 春のお花レストラン
・・・チョウの集まる春の花たち
- 3 川の生きもの調査隊！
・・・川に住む多様な生きもの
- 4 カニ・カイ パラダイス
・・・海岸で見られるカニや貝、花たち
- 5 天然記念物・御池沼沢 花ごよみ
・・・湿地独特の植物たち
- 6 どんぐりワールド
- 7 トンボ戦隊 にじいろレンジャー
・・・カラフルなトンボたちの戦い
- 8 水鳥ウォッチング
・・・初心者でも見れる鳥たち
- 9 発見！動物たちのフィールドサイン
・・・痕跡から推理する動物たちのくらし



イベントピックアップ

理科と環境を学べて
一石二鳥

サイエンス教室

環境学習センターでは、小学生高学年を対象としたサイエンス教室を開催しています。重曹やジュースを使って「酸とアルカリ」を学んだり、身近で安全なものを使って実験をして、「環境と科学」の結びつきを学びます。
参加費は無料で、親子でも参加できます。



共催：WDBエウレカ（株）

講座の案内は、[エコぱニュース](#)や[よっかいち広報](#)、[環境学習センターのホームページ](#)を見てね！

四日市公害資料室

四日市公害のはじまりから改善のあゆみを学習できるパネルと年表、当時の様子を知る写真や測定機器などを展示しています。また、四日市公害関係の資料の閲覧やDVDを視聴することもできます。

夏休みには、毎年、子どもたちの学習支援の写真展を開催しています。団体見学も受け入れています。資料室の案内や語り部を希望される場合は、事前にご相談ください。



出前講座

地域や学校などにエコ工作などの出前講座をしています。

ゴミになってしまうものや自然素材を使った工作をしながら、自然保護やゴミ問題について学びます。地域での交流の場などでご活用ください。（要予約）



にじいろボックス



日本の環境教育は「子どもたちを公害からどう守るか」が出发点

「環境教育」という用語が世界で初めて使われたのは1948年(昭和23年)のことです。日本ではまだ戦争から立ち直りが始まりもしないころでした。日本は敗戦で傷ついた人、社会、経済を立て直すことを目標に国全体で産業を盛り上げようとしていきます。



ところが1960年代に入ると、日本では社会的にいやいや世界的に大きな問題が起こります。私たちの住む四日市市は日本の四大公害のひとつである「四日市ぜんそく」が発生した地域であることは誰でもが知っていることでしょう。

大気汚染での被害は大きかった。その現状を見た学校の先生たちは「子どもたちを公害からどう守るか」をテーマに研究を始めます。記録によると1964年(昭和39年)には四日市教育研究所で公害対策教育の研究が始まっています。このように子どもたちを公害から守ろうとする現場の先生方の努力が日本の環境教育のはじまりなのです。

しかし、1980年代には産業・企業からの公害ばかりではなく、普通の人たちの生活から起こる公害も明らかになってきました。自動車による大気汚染や家庭からの生活排水による水質汚濁などがその例です。そのようなことから企業のみが環境を悪化させているのではなく、市民・住民の側も環境を悪化させているのだという認識が広まり、教育の世界でも公害教育から環境教育へと変化が見られるようになっていきます。

環境教育は地球全体や日本、身近な環境について「気づき、考え、行動する」子どもたちや日本人を作ることを目標としています。そのなかで「子どもたちを公害からどう守るか」から始まった公害教育を環境問題の中に適切に位置づけ、その教育を展開することが今だからこそ必要ではないかと考えるのです。

(株)ロハスネット 長尾 計昌

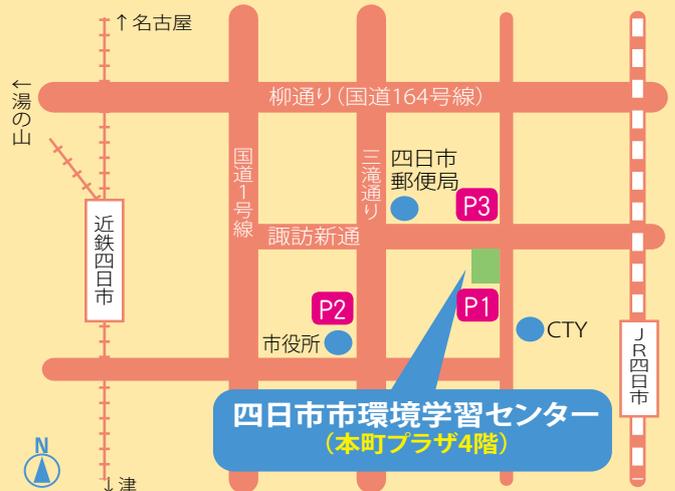
本町プラザ付属立体駐車場 **P1** **無料** でご利用
市営中央駐車場 **P2** が **無料** いただけます

24年4月より、見学や講座などで施設をご利用の方に、無料チケットをお渡しします。お帰りの際に、受付で駐車券をご提示ください。

本町プラザ付属立体駐車場は
車両制限があります。
利用可能車両
全長5m全幅2m全高1.55m



満車等でご利用いただけない場合は、ご容赦ください。
無料チケットが無いと有料精算となります。
また、新丁ひろば駐車場 **P3** (30分まで無料)は、
対象となりませんのでご注意ください。



発行 四日市市環境学習センター

〒510-0093 四日市市本町9-8
本町プラザ4階
Tel 059-354-8430 Fax 059-354-8431
メール info@eco-yokkaichi.com
Web http://www.eco-yokkaichi.com
開館時間 9時~17時
休館日 日、月、祝日、年末年始